GREEN HOUSE™

防水ポータブルDVDプレーヤー

取扱説明書

GH-PDV9HW シリーズ

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後も大切に保管してください。

設置の手順

製品構成を確認します。
（1 ページ）

▽

本取扱説明書に書かれている「安全上のご注意」、「使用上のお願い」、「ディスクについて」、「外部メモリーについて」、「防水機能について」、「タッチセンサーボタンについて」、「各部のなまえ」をよく読みます。（3 ～ 31 ページ）

▽

準備を行います。
（32 ～ 38 ページ）

▽

本製品の電源をオンにします。
（35 ページ）

製品構成の確認

パッケージの中に下記のものがすべて入っているかご確認ください。

●製品本体	1 台
●専用リモコン	1 個
●リモコン用ボタン電池	1 個
●リモコン用オープナー	1 個
●専用 AV ケーブル	1 本
●専用 AC アダプタ	1 個
●取扱説明書（本書）	1 部
●保証書	1 部

※付属のリモコン用ボタン電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

目次

安全上のご注意

安全に正しくご使用いただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。
次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、注意事項をお守りください。

■表示の説明

危険

この表示の注意事項を守らないと、特に、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

警告

この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。
なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。
必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

■絵表示の例

行為を禁止する絵表示

禁止

この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。
(左図の場合､「禁止」を示しています。)

注意をうながす絵表示

注意

この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。
(左図の場合､「注意」を示しています。)

行為を指示する絵表示

コンセントから
プラグを抜く

この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。
(左図の場合､「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)

警告　**異常が発生した場合**

コンセントからプラグを抜く	煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、煙が出なくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。
コンセントからプラグを抜く	発熱したら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、発熱がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。
コンセントからプラグを抜く	異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、異臭がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。
コンセントからプラグを抜く	異音がしたら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、異音がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。
コンセントからプラグを抜く	使用中、落下や衝撃により破損したら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。
コンセントからプラグを抜く	水や異物が内部に入ったら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。

⚠ 警告　使用について

禁止	AC アダプタは、必ず付属の専用品を使用してください。 火災や感電の危険があります。
禁止	ACアダプタは、水のかかる場所で使用しないでください。 火災や感電の危険があります。
禁止	バッテリを内蔵しているため、燃やしたり、熱器具や電気調理機器などで加熱したり、圧力容器で加圧したりしないでください。 故障の原因となり、火災や感電の危険があります。
禁止	落下や衝撃により破損したら、使用しないでください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。 ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。
禁止	業務用途としては使用しないでください。 長時間のご使用は、過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険がありますので、業務用途でご使用の際は、事前に、弊社 (03-5421-2255) までご相談ください。

警告　電源について

AC100V以外 使用禁止	AC アダプタのプラグは、100 ボルト交流電源 (AC100V) コンセントにしっかり差し込んで使用してください。 日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。
定期的に プラグを掃除	AC アダプタのプラグは、定期的に掃除を行ってください。 AC アダプタのプラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の危険があります。定期的に AC アダプタのプラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取り除いてください。
コンセントから プラグを抜く	AC アダプタのプラグのお手入れは、AC アダプタのプラグをコンセントから取り外して行ってください。 AC アダプタのプラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があります。

⚠警告　電源について

 定格超過 禁止	コンセントや延長ケーブル、OAタップなどの定格を超えてご使用にならないでください。 タコ足配線などによって定格を超えると、火災や感電の危険があります。
 コード傷つけ 禁止	AC アダプタのコードは、傷つけないでください。 ものをのせたり、引っぱったり、ねじったりなど、無理に取り扱うとコードが傷つき、火災や感電の危険があります。
 破損コード 使用禁止	AC アダプタのコードに傷や裂け、割れ、ちぎれなど破損がある場合は、ご使用にならないでください。 破損した AC アダプタから発熱や放電することにより、火災や感電の危険があります。
 落雷時は 触れない	落雷のおそれがある場合、AC アダプタのプラグをコンセントから抜いてください。 火災や感電の危険があります。
 濡れた手で 触れない	濡れた手で AC アダプタのプラグやコンセントに触れないでください。 感電の危険があります。
 破損コンセント 使用禁止	破損したコンセントを使用しないでください。 コンセントに AC アダプタのプラグをしっかり差し込んでも、ゆるみがあると、火災や感電の危険があります。破損したコンセントではない、別のコンセントでご使用ください。
 コードひっぱり 禁止	AC アダプタのプラグをコンセントに抜き挿しする場合、プラグ部を持ってください。 コードを引っぱると、AC アダプタのプラグやコード、コンセントが傷つき故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

⚠警告　設置について

不安定な場所に置かない	不安定な場所に置かないでください。 不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所に置くと、落下や転倒の危険があります。
禁止	温度の高いところに置かないでください。 熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など温度の高いところに置くと、高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。
禁止	異物が浮遊するところに置かないでください。 ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。ホコリなどは、定期的に取りのぞいてください。

⚠警告　使用について

分解や改造をしないでください。
火災や感電の危険があります。

ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。
衝撃による破損の原因となり、火災や感電の危険があります。また、持ち運ぶ際は、無理に取り扱わないでください。

子供だけで使用したり､乳幼児の手の届くところで使用しないでください。
感電やケガの危険があります。

子供が使用する場合は、保護者が取扱説明書の内容にもとづいた指導監督を行ってください。
感電やケガの危険があります。

水や異物を入れないでください。
火災の危険があります。

破損や変形、補修したディスクは使用しないでください。
ディスクは製品内で高速に回転しますので、ケガをする危険があります。また、回転中のディスクには触れないでください。

リモコンによる操作は、リモコンをリモコン受光部に向けて行ってください。
また、運転中は製品を使用しないでください。事故の危険があります。

目的外の使用はしないでください。
火災や感電の危険があります。

⚠警告 使用について

航空機内でのご使用は、航空会社の指示に従ってください。
事故の危険があります。

警告 リモコンについて

 指定外の電池 使用禁止	指定の電池を使用してください。 指定外の電池や種類の違う電池、未使用の電池と使用済みの電池を組み合わせて使用すると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、プラス（+）、マイナス（−）の極性に注意してください。
 電池を 取り外して	長時間使用しないときは、電池を取り外してください。 使用推奨期限を過ぎたり、使いきった電池を入れたままにすると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。
 禁止	電池を加熱したり、加圧したりしないでください。 破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。
 禁止	電池を傷つけたり、分解したり、水や火の中に入れないでください。 破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、電池を廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。
 禁止	電池を、乳幼児の手の届くところに置かないでください。また、電池を取り出せないようにしてください。 誤飲や窒息の危険があります。
 禁止	電池の液が皮膚や衣服に付着したら、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流してください。 皮膚障害の危険があります。
 禁止	電池の液が目に入ったら、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流し、医師の診察をうけてください。 視力が損なわれたり、失明の危険があります。

⚠注意　使用について

 コンセントから プラグを抜く	長期間使用しないときは、AC アダプタのプラグを抜いてください。 電源を切っただけでは常に微弱な電流が流れているため、故障した場合、火災の危険があります。
 適度な音量で 使用する	適度な音量で使用してください。 音による周囲への影響に配慮し、適度な音量でご使用ください。
 適度な音量で 使用する	イヤホンは、適度な音量で使用してください。 耳を刺激するような大音量で長時間連続ご使用になると、聴力が損なわれる可能性があります。また、周囲の音が聞こえないと危険な状況下では、ご使用にならないでください。
 ピックアップ レンズを見ない	ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見ないでください。 レーザー光を見続けることにより、視力が損なわれる可能性があります。
 禁止	外部メモリーを、乳幼児の手の届くところに置かないでください。 誤飲や窒息の危険があります。

使用上のお願い

末永くお使いいただくために

製品の取り扱いについて

●製品の取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みください。
●電源を入れたまま、製品を移動しないでください。
●製品を移動する際は、ディスクや外部メモリーを取り出し、電源を切り、AC アダプタのプラグをコンセントから取り外してください。
●電源を入れたまま、AC アダプタのプラグをコンセントから取り外さないでください。
●視聴の際は、明るい場所で、画面から十分に離れてご覧ください。
●疲労や睡眠不足など体調がすぐれないときは、視聴を避けてください。
●映像からの刺激により一時的に身体的影響が起こった場合は、視聴をやめてください。
●大音量で長時間連続で使用すると、聴力が損なわれる可能性がありますので、適度な音量で使用してください。
●運転中や歩行中など、周囲の音が聞こえないと危険な状況下では使用しないでください。
●耳に異常を感じる場合は、使用しないでください。
●本製品には、有寿命部品が含まれています。使用頻度や使用環境によって異なりますが、経年変化による消耗、劣化が生じ、動作が不安定になったり、動作しなくなる場合があります。
(主な有寿命部品 :|LCD|ディスクドライブ|ACアダプタ|ピックアップユニット部|内蔵バッテリ|端子カバー)

製品のお手入れについて

●お手入れの際は、電源を切り、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外してください。
●汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
●ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
●化学ぞうきんの使用は、製品を変質させる可能性があります。
●ベンジンやシンナーなど溶剤の使用は、製品を変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
●強力な洗剤の使用は、製品を変色させたり、変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
●殺虫剤や揮発性のものの使用は、引火の可能性があります。
●ゴムやビニールなどを長時間接触させたままにすると、製品の塗装をはがす可能性があります。
●シールやテープを貼ったままにすると、製品を変色させたり、塗装をはがす可能性があります。
●ピックアップレンズにゴミやホコリが付着すると再生不良の原因となりますので、その場合は市販のレンズクリーナーを使用してください。

製品の温度について

●密閉空間へ設置しての使用や長時間の使用により、製品が暖かくなる場合がありますが、故障ではありません。
●製品の上や近くに、熱で変形しやすいものを置かないでください。
●製品が発熱した場合、すぐに電源を切り、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外してください。

結露(つゆつき)について

●温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
●結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となる可能性があります。
●結露が起こった場合、電源を切ったまま放置し、結露が乾いてから使用してください。
●寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

磁気や電磁妨害について

●磁気の影響をさけるため、磁石や磁石を使用した機器を、製品に近づけないでください。
●電磁波の影響をさけるため、携帯電話や電磁波を発する機器を、製品に近づけないでください。
●磁気や電磁妨害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

しばらく使用しないときは

●使用後は節電のため、電源を切ってください。
●長く使用しない場合、AC アダプタのプラグをコンセントから抜いてください。
●内蔵バッテリの劣化を避けるため、長期間使用しない場合でも、定期的な充電と動作の確認を行ってください。
●取扱説明書「仕様」にある動作温度、動作湿度の範囲で保管してください。

ディスクの取り扱いについて

●ディスクに付属の取扱注意書をよくお読みください。
●対応する再生可能なディスクであっても、再生できない場合があります。
●レコーダーやパソコンなどで録画したDVDディスクを再生する場合、録画したレコーダーやパソコンでファイナライズを実行する必要があります。
●レコーダーやパソコンなどによって DVDディスクのファイナライズを実行しても、再生できない場合があります。
●ディスクに指紋やホコリなど汚れが付着すると、映像が乱れたり、雑音が発生したり、再生不良の原因となります。
●保管する際は、専用ケースに入れ、温度や湿度の高いところ、直射日光の当たるところを避けてください。
●信号面 (光っている面) には手を触れないでください。
●ディスクの汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってから、内側から外側へふき取ってください。
●ひどい汚れは、市販のディスククリーナーを使用してください。
●折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
●液体をかけないでください。
●シールやテープを貼ると、ディスクに反りが起こり、使用できなくなる可能性があります。
●印刷面に文字などを書き込む場合、硬いものは使用せず、やわらかいフェルトペンなどを使用してください。
●正円形のディスクを使用し、それ以外の形のディスクは使用しないでください。
●本体の傾きや振動によりディスクにキズが付く可能性がありますので、ディスクの再生時は本体を安定した場所に設置してください。

外部メモリーの取り扱いについて

●外部メモリーに付属の取扱注意書をよくお読みください。
●対応する再生可能な外部メモリーであっても、再生できない場合があります。
●保管する際は、静電気や電磁波の発生するところを避けてください。
●端子部に、ゴミやホコリといった異物を付着させないでください。
●折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
●液体をかけないでください。
●シールやテープを貼ると、コネクタに抜き差しできなくなったり、コネクタを破損させる可能性があります。

データについて

●対応する再生可能なフォーマットであっても、再生できない場合があります。
●記憶媒体に保存したデータは、誤操作や製品の故障によって消失する可能性があります。
●記憶媒体に保存したデータは、磁気や電磁妨害によって消失する可能性があります。
●記憶媒体に保存したデータは、温度や湿度、日射の影響によって消失する可能性があります。
●大切なデータは、他の記憶媒体へのバックアップをお勧めします。
●データの管理は、お客様の責任において行ってください。

免責事項

●取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●記憶媒体に保存したデータが消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●製品の使用にともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●製品の使用にともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●運転中の製品の使用にともなって事故や交通違反が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●関連装置との互換性によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●記憶媒体やデータの状態によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

ディスクについて

使用できるディスク

下記のマークはディスクラベル、パッケージ、またはジャケットに記載されています。

ディスク	マーク		内容
DVD ディスク			・12cm / 8cm ・リージョンコードが 2 や ALL ・映像方式：NTSC
DVD-R/RW DVD-R DL			・12cm
DVD+R/RW DVD+R DL			・12cm / 8cm
CD			・12cm / 8cm
CD-R CD-RW			・12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。

●ディスクにマークがあっても、データの作り方やディスクの状態によって、再生ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

再生できるディスクについて

●本製品は、日本のテレビ方式 (NTSC) に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。
●市販されている DVD ディスクによっては再生できないことがあります。

再生できないディスクの種類

●リージョンコードが「2」や「ALL」以外の DVD ディスク。
●DVD オーディオ、SACD、DVD-RAM など、使用できるディスクに記載のない規格のもの。
●フォト CD、CD-G、CD-EXTRA のデータなど。

記録型ディスクの再生について

●本製品が対応している記録型ディスクであっても、データの記録状態によっては再生できない場合があります。
●ファイナライズしていないディスクを再生することはできません。
また、レコーダーやパソコンによって、ファイナライズを実行しても本製品で再生できない場合があります。

著作権保護機能（CPRM）のついたディスクの再生について

●著作権保護機能「CPRM」対応のディスクに録画された、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送には著作権保護のためにコピー制御信号が記録されています。本製品は CPRM の VR モード再生に対応していますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

コピーコントロール機能のついたオーディオCDの再生について

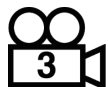
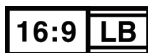
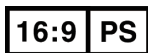
●コピーコントロール機能のついた CDの中には、CD規格に合致していないものがあり、本製品で再生できない場合があります。

再生するときの制約

●本取扱説明書は、本製品の基本的な操作の仕方を説明しています。
DVDディスクは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあるため、
操作したとおりに動作しないことがあります。
●ボタン操作中にテレビ画面に ⊘ と表示されることがあります。⊘ と表示されたときは、本製品かディスクがその操作に対応しておりません。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクラベルやパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク例	内容
	記録されている音声の数を示します。 （左の例は、日本語、英語などのような２種類の音声が収録されています）
	記録されている字幕の数を示します。 （左の例は、日本語、英語などのような２種類の字幕が収録されています）
	記録されている角度（マルチアングル）の数を示します。 （左の例は、３種類の角度で収録されています）
	横：縦＝４：３の標準サイズで記録されていることを示します。
	レターボックス（横：縦＝４：３で上下に黒帯が入っている画面）で記録されていることを示します。
	横：縦＝１６：９のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（４：３）のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されることを示します。
	横：縦＝１６：９のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（４：３）のテレビの場合はパン＆スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生されるように指定されることを示します。

リージョンコード（地域番号）

リージョンコードについて

●DVDプレイヤーとDVDディスクには、それぞれ発売地域ごとにリージョンコード（ 地域番号 ）が設定されており、お互いのリージョンコード (地域番号) が一致しない場合、再生することができません。

本製品のリージョンコード（地域番号）は“2”です。

本製品で再生できる DVD ディスクのリージョンコードについて

●ご使用になるディスクにリージョンコード (地域番号) が設定されている場合、ディスクやパッケージに“2”や“ALL”のリージョンマークが記載されていないと、本製品では再生することが出来ません。

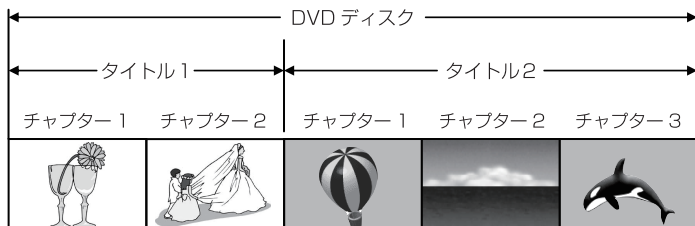
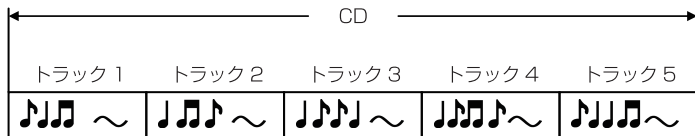
著作権について

●コンテンツの複製は私的使用のための複製に限られ、個人として楽しむなどのほかは、本製品や複製したコンテンツを使用することができません。

●コンテンツを著作権者に無断で複製、配布、配信、販売などといった二次利用する行為は著作権法に違反します。

ディスクの内容の区分

タイトル、チャプター、トラック

DVD ディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。

CD は、「トラック」で区切られています。

タイトル　：DVD ディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったもの。

トラック　：CD の内容を曲ごとに区切ったもの。

それぞれのタイトル、チャプター、トラックには、順番に番号が割り当てられています。
これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。

●ディスクによっては、それぞれの番号が記録されていないものもあります。

外部メモリーについて

使用できる外部メモリー

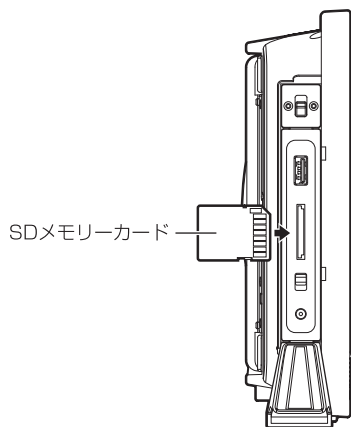
以下の外部メモリーに対応しています。

・SDメモリーカード　　　・SDHCメモリーカード
・USBメモリー

●すべての外部メモリー、すべての容量の動作保証をするものではありません。
●FAT や FAT32 でフォーマットされた外部メモリーのみ使用できます。
　その他のフォーマットに設定された外部メモリーでの動作保証はしておりません。
●miniSDカード、microSDカード、microSDHCカードを使用する場合、別途専用アダプタが必要になります。
●MMC（マルチメディアカード）での動作保証はしておりません。
●SD、SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

SDスロットを使用する

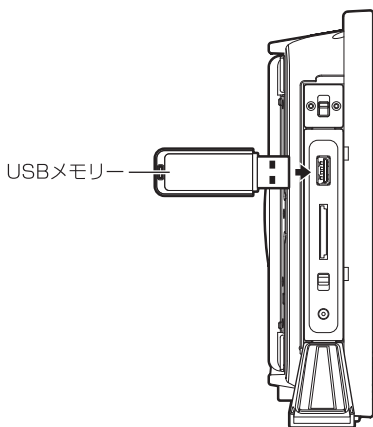
SD スロットを使用して SD メモリーカードから音楽・画像・動画を再生する方法を紹介します。

SDメモリーカードから再生する

1. 端子カバーを開けます。
2. SD メモリーカードを差し込みます。
3. [モード切替] ボタンを押し、[SD]に切り替えます。

●水のかかる場所で使用する場合には、端子カバーを確実に閉じてから使用してください。
●水のかかる場所で使用する場合には、事前に SD メモリーカードの差し込み、抜き取りを行ってください。
●音楽ファイル、動画ファイル、画像ファイル再生中の場合、[■] ボタンを押して、再生を停止させてから SD メモリーカードを取り外してください。

USBポートを使用する

USBポートを使用して USBメモリーから音楽・画像・動画を再生する方法を紹介します。

USBメモリーから再生する

1. 端子カバーを開けます。
2. USBメモリーを差し込みます。
3. [モード切替] ボタンを押し、[USB]に切り替えます。

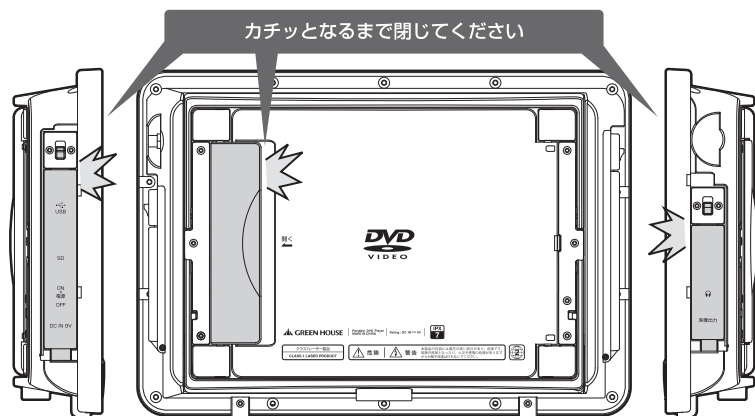
●USB メモリーを挿したままでは端子カバーを閉じることができませんので、水のかかる場所では使用できません。
●音楽ファイル、動画ファイル、画像ファイル再生中の場合、[■]ボタンを押して、再生を停止させてから USB メモリーを取り外してください。
●搭載されている USB ポートは、USB メモリーにのみ対応します。他の機器を接続すると、本製品や USB メモリーの故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。

防水機能について

本体と専用リモコンは防水仕様となっており、JIS 防水保護等級 IPX7 相当の防水性能を実現しています。

IPX7(浸水に対する保護等級)とは
常温の水道水の水深 1m に機器を静かに沈め、30 分間放置して取り出したあとに、機器の機能が動作することを表します。

防水性能を保つために

防水性能を保つために、必ず以下のことを確認の上ご使用ください。

⚠注意 ディスクトレイカバーと端子カバーがきちんとロックされているか確認してください。

「安全上のご注意」や「使用上のお願い」をよくお読みの上、以下に十分お気をつけください。

使用前の注意

●ディスクトレイカバーや端子カバーのゴムパッキンにキズやひび割れといった異常がないか、確認してください。
●ディスクトレイカバーや端子カバーは、水のかからない場所で事前に確実に閉じ、ロックされていることを確認してください。
●電源のオン / オフは、水のかからない場所で事前に行ってください。

使用中の注意

●水中用ではありませんので、水中で使用しないでください。
●浴室で使用する場合は、浴槽に落下しないように設置してください。
●浴室での長時間での使用は避けてください。
●サウナでは使用しないでください。
●常温の水道水以外の水をかけたり、浸したりしないでください。

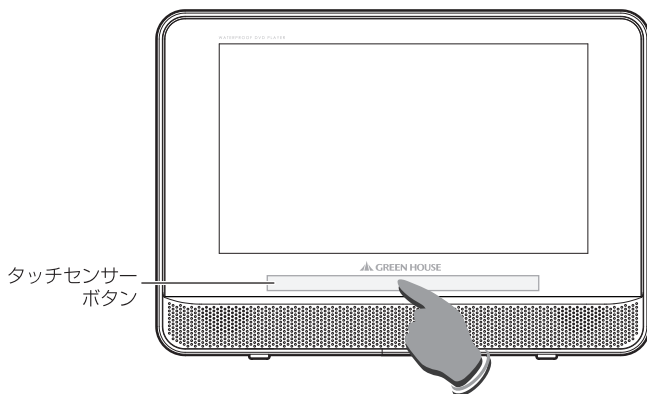
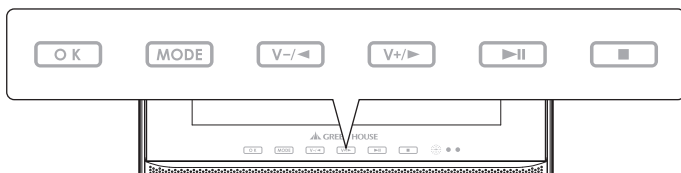
使用後の注意

●水がかかったまま放置せず、乾いたやわらかい布でふき取ってください。
●ドライヤーなどの熱風で乾かさないでください。
●石鹸水や洗剤、入浴剤が溶けた水などがかかった場合は、水流を弱めた常温の水道水で洗い流し、乾いたやわらかい布でふき取ってください。
●ゴムパッキンに異物が付着した場合は、乾いたやわらかい布でふき取ってください。
●スピーカーに水がかかると、音が小さくなったりする場合がありますが、内部に綿棒などのとがったものを差し込まないでください。

タッチセンサーボタンについて

タッチセンサーボタンで操作する

タッチセンサーボタンでの操作方法を紹介します。

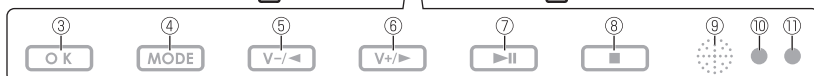
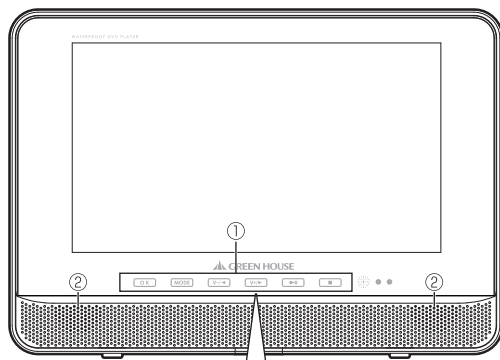
1. タッチセンサーボタンに指でタッチする。

2. 約 7 秒間、すべてのボタンが点灯表示します。

3. すべてのボタンが点灯表示中に各ボタンをタッチすると、ボタンが点滅し動作します。

●タッチセンサーボタンには、ゆっくりとタッチしてください。

各部のなまえ

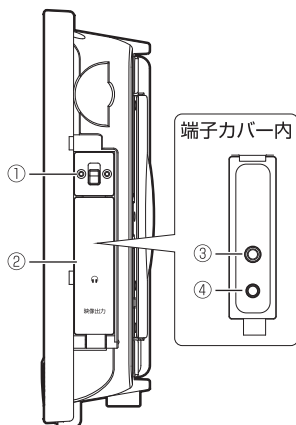
各部名称

本体とリモコンの各部名称を紹介します。

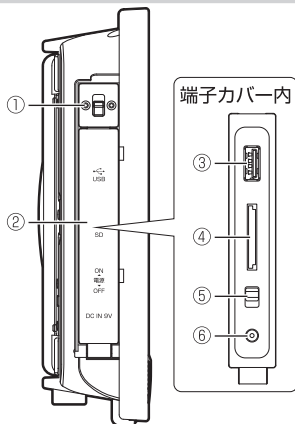
正面図

①	タッチセンサーボタン	メニューが表示されます
②	スピーカー	防水スピーカーです
③	O K	項目の決定をします
④	MODE	動作モードを切り替えます
⑤	V−/◄	早戻し再生をします/カーソル左移動します/長押しで音量を下げます
⑥	V+/►	早送り再生をします/カーソル右移動します/長押しで音量を上げます

⑦	►II	ディスクやファイルを再生/一時停止します
⑧	■	再生中のディスクやファイルを停止します
⑨	リモコン受光部	リモコンからの操作を受信します
⑩	充電LED	充電中にLEDが点灯します
⑪	電源LED	動作中にLEDが点灯します

●タッチセンサーボタンには、ゆっくりとタッチしてください。

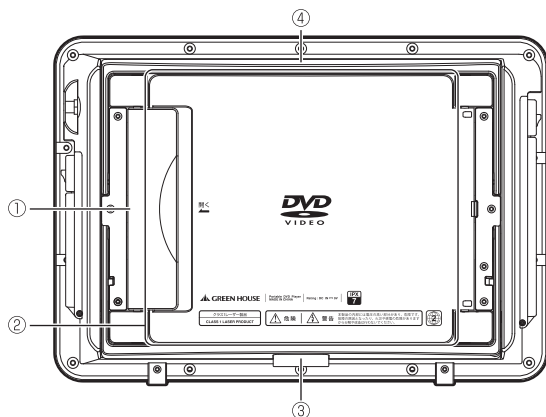
右側面部

①		端子カバーが開きます
②	端子カバー	防水機構を施したカバーです
③		ヘッドホンを接続します
④	映像出力	専用AVケーブルを接続します

●使用前は端子カバーが確実にロックされているか確認してください。
きちんとロックされてないと、防水性能が保たれず､機器の故障につながります。

左側面部

①		端子カバーが開きます
②	端子カバー	防水機構を施したカバーです
③	USB	USBメモリーを挿します
④	SD	SDメモリーカードを挿します
⑤	ON 電源 OFF	主電源のオン/オフをします
⑥	DC IN 9V	専用ACアダプタを接続します

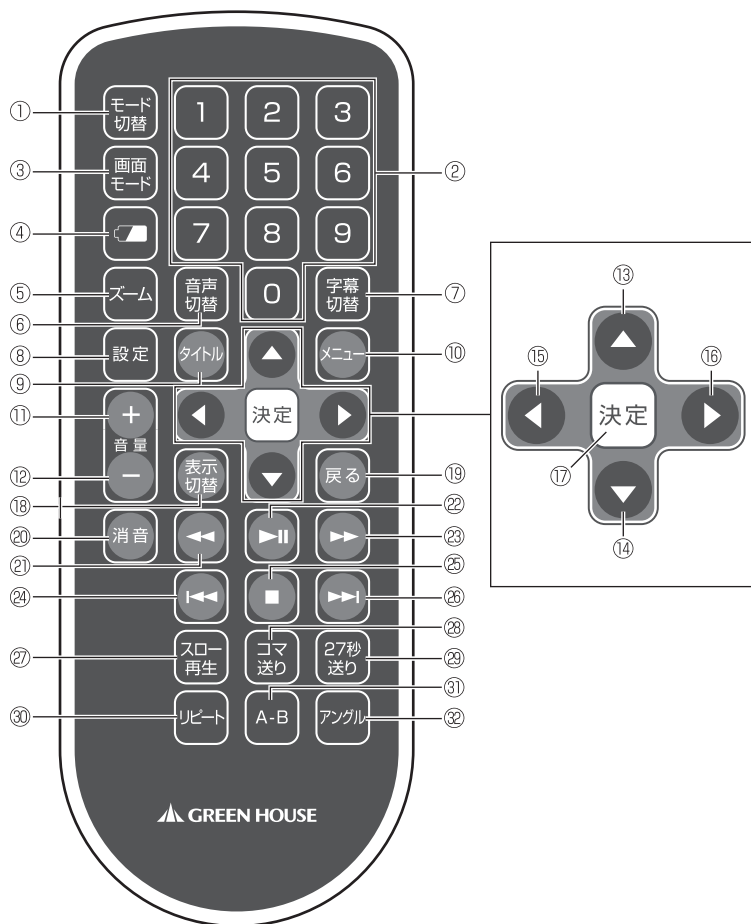
●使用前は端子カバーが確実にロックされているか確認してください。
きちんとロックされてないと、防水性能が保たれず､機器の故障につながります。

●USBメモリーを挿したままでは端子カバーを閉じることができませんので、水のかかる場所では使用できません。

背面部

①	バックル	ディスクトレイカバーを開けたり、ロックするときに使用します
②	ディスクトレイカバー	防水機構を施したカバーです
③	スタンド	本体を立てたり、斜めにするときに使用します
④	ハンドル	本体を持ち運ぶときに使用します

●使用前はディスクトレイカバーがバックルで確実にロックされているか確認してください。きちんとロックされてないと、防水性能が保たれず、機器の故障につながります。

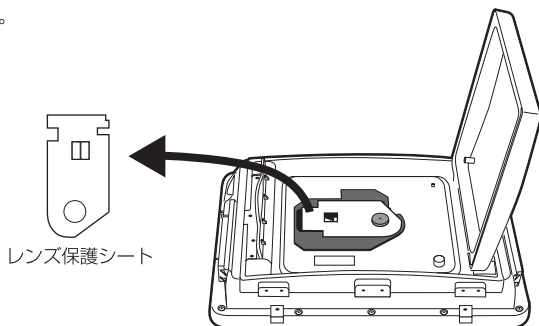
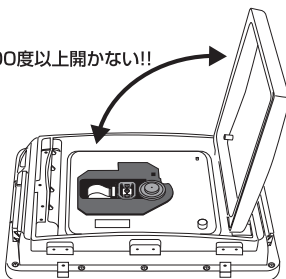
リモコン

モード切替
1
2
3
画面モード
4
5
6
7
8
9
ズーム
音声切替
0
字幕切替
設定
タイトル
メニュー
決定
音量
表示切替
戻る
消音
スロー再生
コマ送り
27秒送り
リピート
A-B
アングル
GREEN HOUSE
決定

①	モード切替	動作モードを切り替えます
②	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	数字を入力します
③	画面モード	画面のアスペクト比(16:9/4:3)を切り替えます
④		電池残量を表示します
⑤	ズーム	画面をズームします
⑥	音声切替	音声を切り替えます
⑦	字幕切替	字幕を切り替えます
⑧	設定	設定画面を表示します
⑨	タイトル	タイトルメニューを表示します
⑩	メニュー	ルートメニューを表示します
⑪	+	音量を上げます
⑫	−	音量を下げます
⑬	▲	カーソルを上移動します
⑭	▼	カーソルを下移動します
⑮	◀	カーソルを左移動します
⑯	▶	カーソルを右移動します

⑰	決定	項目の決定をします
⑱	表示切替	情報の表示を切り替えます
⑲	戻る	前の項目に戻ります
⑳	消音	消音します
㉑	◀◀	早戻し再生をします
㉒	▶II	ディスクやファイルを再生/一時停止します
㉓	▶▶	早送り再生をします
㉔	I◀◀	前のチャプターへ移動します
㉕	■	再生中のディスクやファイルを停止します
㉖	▶▶I	次のチャプターへ移動します
㉗	スロー再生	スロー再生をします
㉘	コマ送り	コマ送り再生をします
㉙	27秒送り	27秒送りをします
㉚	リピート	リピート再生をします
㉛	A-B	区間指定のリピート再生をします
㉜	アングル	アングルを切り替えます

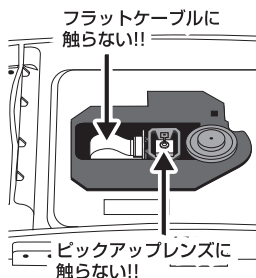
●上記は一例です。ディスクや実行中のメニューによって動作は異なります。

ディスクトレイカバーを開く

ディスクトレイカバーを開けるとレンズ保護シートが取り付けられていますので、取り外してからご使用ください。

ディスクをセットする際は、バックルを外し、ディスクトレイカバーを開いてください。

100度以上にディスクトレイカバーを開くと、故障したり、ディスクカバーが破損する場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

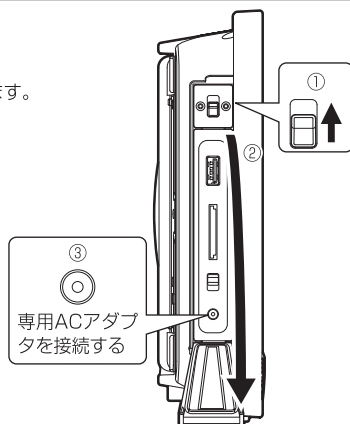
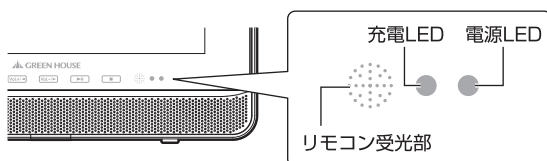
ディスクトレイカバーを閉じる際は、ディスクトレイカバーやバックルを確実に閉じてしてください。

※ディスクトレイカバーが開いたままだったり、破損したまま使用すると、防水性能を保つことができず火災や感電の危険があります。

ピックアップレンズにより、ディスクに記録されたデータを読み取り、フラットケーブルにより、読み取ったデータをやり取りしていますので、ピックアップレンズやフラットケーブルには触れないでください。

ピックアップレンズやフラットケーブルに触れると、故障したり、破損する場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

※ピックアップレンズにチリやホコリが付着した場合は、市販のレンズクリーナーを使用してください。

専用 AC アダプタ接続

① 左側の◎ ◎を上方向に動かす。
② 端子カバーを開く。
③ DC IN 9V に付属の専用ACアダプタを接続します。

LEDの状態は以下の表の通りになります。

前面部

充電LED	
充電開始	赤 / 緑点滅
充電中	赤点灯
充電完了	緑点灯

電源LED	
電源オン	青点灯
電源オフ	消灯

●電源がオフ時の場合、充電を開始してから約3時間40分で満充電となります。
　使用しながら充電できますが、電源がオフの場合より充電時間が長くなります。
●専用ACアダプタを取り外した後は、必ず端子カバーを閉めてください。

リモコンを準備する

初めてご使用になる場合は、下記の方法にしたがって付属の電池を取り付けてください。電池を交換する場合は、市販の CR2025 形ボタン電池をリモコンの刻印に従って交換してください。

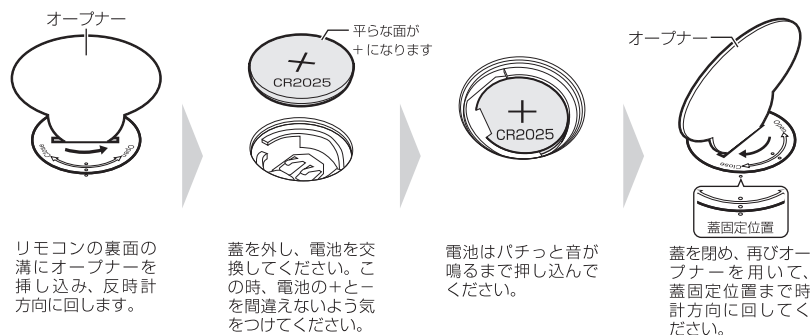
●長期間ご使用にならない場合は、リモコンから電池を抜いてください。
●付属の電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。
●電池の取り付けや交換は、水のかからない場所で事前に行ってください。

リモコン用電池の交換方法

リモコンの裏面の溝にオープナーを挿し込み、反時計方向に回します。

蓋を外し、電池を交換してください。この時、電池の＋と－を間違えないよう気をつけてください。

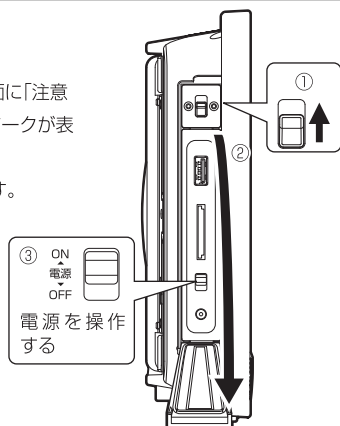
電池はパチッと音が鳴るまで押し込んでください。

蓋を閉め、再びオープナーを用いて、蓋固定位置まで時計方向に回してください。

電源操作

① 左側の◎◎を上方向に動かす。

② 端子カバーを開く。

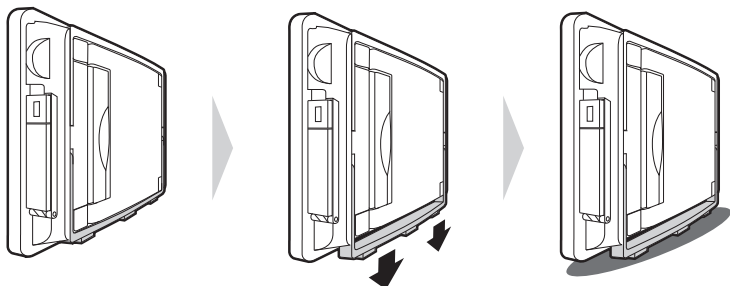
③ ON 電源 OFF をオン側に動かすと、電源がオンになり画面に「注意画面」が表示した後に「GREEN HOUSE」のロゴマークが表示されます。

ON 電源 OFF をオフ側に動かすと、電源がオフになります。

- ON 電源 OFF をオンにしても電源LED が点灯しない場合、バッテリ残量がありません。専用 AC アダプタを接続して充電をしてください。
- 使用状態により異なりますが、満充電状態から約 4 時間使用できます。
- 電池残量が残り少なくなると画面右下に電池マークが点灯し、しばらくすると電源が切れますので、使用を続ける場合は専用 AC アダプタを接続してください。
- リモコンの ボタンを押すと、現在の電池残量が確認できます。
- 電源操作後は、必ず端子カバーを閉めてください。

スタンド・ハンドルを使う

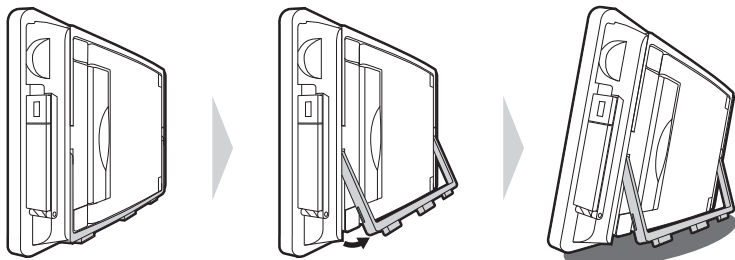
スタンドを使うことで、環境に合わせて視聴できます。

垂直に立てて使う

下側のスタンドを両側から下に引き伸ばす。

スタンドを収納した状態　**スタンドを下に引き伸ばす**　**垂直に立てて使う**

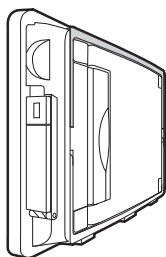
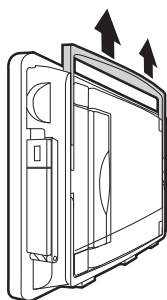
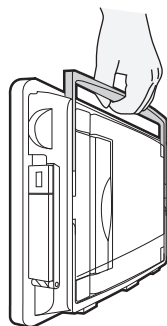
- スタンドを下に引き伸ばした状態のまま、スタンドを斜めに引き出すことはできません。
  一度、スタンドを収納した状態に戻してから、スタンドを斜めに引き出してください。
- 指などを挟まないように注意してください。

斜めに立てて使う

下側のスタンドを両側から斜めに引き出す。

スタンドを収納した状態　**スタンドを斜めに引き出す**　**斜めに立てて使う**

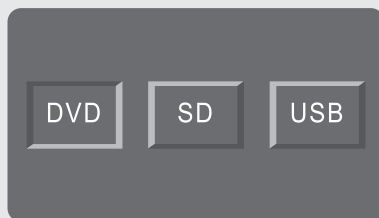
- ディスクの出し入れする場合、スタンドを収納した状態に戻してからディスクを出し入れしてください。
- 指などを挟まないように注意してください。

持ち運ぶ

上側のハンドルを両側から上に引き伸ばす。

ハンドルを収納した状態　　**ハンドルを上に引き伸ばす**　　**持ち運ぶ**

● 指などを挟まないように注意してください。

動作モードを切り替える

各動作モードの切り替え方法を紹介します。

「GREEN HOUSE」画面より、リモコンの［モード切替］ボタンを押すと、メニューが開きます。

DVD ・・・ DVDディスクやCDを再生します
SD ・・・ SDメモリーカードを読み込み、ファイルメニューに移行します
USB ・・・ USBメモリーを読み込み、ファイルメニューに移行します

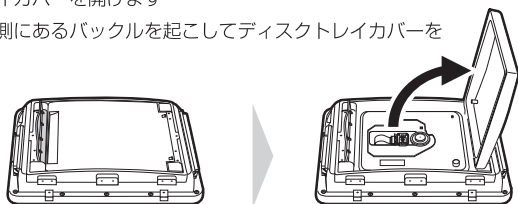
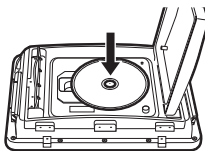
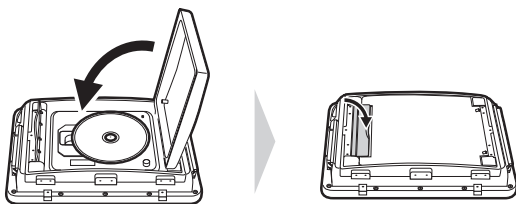
［▲▼◀▶］ボタンで項目を選択し、［決定］ボタンで確定してください。

ディスクを再生する（基本編）

ディスクの基本操作を紹介します。操作方法はディスク再生時のリモコン操作を中心に解説します。

- ●DVDディスクの収録状態によって、操作ができない場合があります。
- ●CPRM で記録した DVDディスクは解説する機能が使用できない場合があります。
- ●再生できないディスクや、ディスク以外のものをディスクトレイに入れないでください。
- ●ディスクトレイカバーを上から強く押さないでください。

ディスクを再生する

1. ディスクトレイカバーを開けます
   本体裏面の左側にあるバックルを起こしてディスクトレイカバーを開けます。

2. ディスクを入れます
   再生面を下にして、ディスクの穴をディスクトレイ中央部の突起に、カチッと音がするまでしっかりとはめこみます。

3. ディスクトレイカバーを閉めます
   開いたディスクトレイカバーを閉じ、バックルをカチッと音がするまで倒してロックします。ロックするとディスクが自動的に再生します。

再生を停止する

リモコンの ■ ボタンを押すと、再生が停止し「GREEN HOUSE」のロゴ画面になります。

リモコンの ■ ボタンを 1度押した場合は停止位置が記憶されますが、ボタンを2度押した場合は停止位置が記憶されませんので、ディスクの先頭から再生が開始されます。

一時停止する

再生中にリモコンの ►II ボタンを 1 度押すと一時停止できます。
通常再生に戻るには、もう 1 度 ►II ボタンを押してください。

ディスクの先頭から再生する

リモコンの ■ ボタンを続けて 2 回押すと、画面右上に「■」が表示されます

リモコンの ►II ボタンを押すと、ディスクの先頭から再生されます。

早送り / 早戻しする

再生中にリモコンの ►► / ◄◄ ボタンを押すと、早送り / 早戻し再生になります。

►► ボタンを押すごとに早送りスピードが 2× ～ 32× で変化します。

◄◄ ボタンを押すごとに早戻しスピードが 2× ～ 32× で変化します。

通常再生に戻るには 32× の状態でもう一度、►► / ◄◄ ボタンを押します。
リモコンの ►II ボタンを押しても戻れます。

前後のチャプターへ移動する

再生中にリモコンの ⏭ / ⏮ ボタンを押すと、前後のチャプターを選択できます。

⏭ボタンを押すと、次のチャプターの開始地点へ移動します。

⏮ボタンを押すと、再生中のチャプターの開始地点へ移動します。
前のチャプターの開始地点へ移動するには 2 回押してください。

音量調整する

再生中にリモコンの − / ＋ ボタンを押すと「0」～「20」の間で音量調整できます。

消音したい場合は、再生中にリモコンの 消音 ボタンを押します。画面左下に「消音」と表示され消音状態となり、内蔵スピーカーとヘッドホンから音が聞こえなくなります。消音状態を解除するには、もう 1 度 消音 ボタンを押してください。

メニュー画面を表示する

メニュー画面が記録されている DVDディスクでは、メニュー画面からタイトルやチャプターを選択しての再生、音声や字幕の設定が可能なものもあります。

リモコンの メニュー ボタンを押すと、DVDビデオディスクに収録されたメニュー画面が表示されます。

▼

リモコンの ▲▼◀▶ ボタンで再生したい項目や、設定したい項目を選びます。

▼

リモコンの 決定 ボタンを押すと、選択した項目が表示されます。

ディスクを再生する（応用編）

ディスクの応用操作を紹介します。

音声を切り替える

複数の音声が記録されている DVD ディスクは、音声の切り替えができます。
※例：DVD ディスクに「日本語」と「英語」が収録されている場合はどちらか選択できます。

再生中にリモコンの［音声切替］ボタンを押すごとに音声が切り替わります。

●ディスクによっては、メニュー画面を使って音声を切り替える場合があります。
●1 つの音声しか記録されていないディスクでは、音声の切り替えはできません。
●DTS 収録された音声は再生できません。

字幕を切り替える

字幕が記録されている DVD ディスクでは、字幕の表示 / 非表示を切り替えられます。
また、複数の字幕が記録されている DVD ディスクでは、字幕を切り替えられます。

再生中にリモコンの［字幕切替］ボタンを押すごとに表示される字幕が切り替わります。

●ディスクによっては、メニュー画面を使って字幕を切り替える場合があります。
●字幕が記録されていないディスクや、1 つの字幕しか記録されていないディスクでは、字幕の切り替えはできません。

アングルを切り替える

複数アングルが記録されているディスクでは、アングルを切り替えられます。

リモコンの アングル ボタンを押すと画面右上に下のように表示されます。

1 / 9　現在のアングル番号 / 総アングル数

リモコンの 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ボタンで、アングル番号を選択してください。
再生中の画面アングルが切り替わります。

●ディスクによっては、メニュー画面でアングルを切り替える場合があります。
●1 つのアングルしか記録されていないディスクでは、アングルの切り替えはできません。

アスペクト比を切り替える

再生中のアスペクト比（映像比率）を [16 : 9] か [4 : 3] に切り替えできます。

リモコンの 設定 ボタンを押し、「ビデオ設定」-「画面モード」で [1 6 : 9] か [4 : 3] の切り替えができます。
また、リモコンの 画面モード ボタンでも切り替えができます。

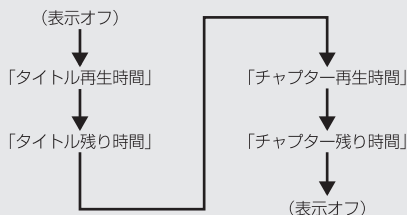
●本機能を使用すると設定画面の比率も変更されます。

再生（便利な再生機能編）

ディスクを再生する（便利な再生機能編）

ディスクの便利な再生機能を紹介します。

再生中の情報を表示する

再生中のディスク情報を画面上部に表示して確認できます。

●ディスクによっては、時間などが正常に表示されない場合があります。

サーチ再生する

チャプターや時間を指定して、頭出し再生ができます。項目はリモコンの ◀ / ▶ ボタンで移動し、数字の入力は 1〜9, 0 ボタンで行います。

●ディスクによっては、サーチ再生できない場合があります。

ズーム再生する

DVD ビデオディスク再生中に、リモコンの ズーム ボタンを押すと、ズーム再生になります。
ボタンを押す毎に [2×] [3×] [4×] [1/2] [1/3] [1/4] が選択でき、
もう1度 ズーム ボタンを押すと通常再生に戻ります。

●ディスクによっては、ズーム再生できない場合があります。

リピート再生する

お好みの「チャプター」「タイトル」をリピートして再生できます。

リモコンの リピート ボタンを押すごとに下のリピートモードが選択できます。

チャプター　・・・現在のチャプターを繰り返し再生し、チャプターの最後まで再生すると、チャプターの先頭から再生が始まります。

タイトル　・・・現在のタイトルを繰り返し再生し、タイトルの最後まで再生すると、タイトルの先頭から再生が始まります。

オール　・・・ディスク全体を繰り返し再生します。

リピートオフ　・・・リピート再生を無効にします。（通常再生に戻ります。）

●ディスクによっては、リピート再生できない場合があります。
●音楽 CD 再生時は「トラック」「オール」「リピートオフ」が使用できます。

指定区間リピート再生する

お好みの 2 点間を指定して繰り返し再生できます。

再生中に開始位置に指定したい箇所でリモコンの A-B ボタンを押すと、画面左上に「A」と表示され、開始位置が記録されます。

画面左上に「A」と表示されている状態で、終了位置に指定したい箇所で、もう一度 A-B ボタンを押すと、画面右上に「AB」と表示され、指定した 2 点間がリピート再生されます。
通常再生に戻るには「AB」と表示されている状態で A-B ボタンを押します。

●ディスクによっては、指定区間リピート再生できない場合があります。

スロー再生する

再生中の速度を 1/2 ～ 1/16 倍でスロー再生 / スロー巻戻し再生できます。

DVDビデオディスク再生中に、リモコンの [スロー再生] ボタンを押すと、スロー再生 / スロー巻戻し再生になります。
ボタンを押すごとに [1/2] [1/4] [1/8] [1/16] [1/2] [1/4] [1/8] [1/16] が選択でき、もう一度 [スロー再生] ボタンを押すと通常再生に戻ります。

●スロー再生中は、音声は再生できません。
●ディスクによっては、スロー再生できない場合があります。

コマ送り再生する

再生中にコマ送り再生できます。

DVD ビデオディスク再生中に、リモコンの [コマ送り] ボタンを押すと、押すごとにコマ送りで再生されます。
通常再生に戻るには ►II ボタンを押してください。

●コマ送り再生中は、音声は再生できません。
●ディスクによっては、コマ送り再生できない場合があります。

27 秒送りする

再生中に 27 秒送りできます。

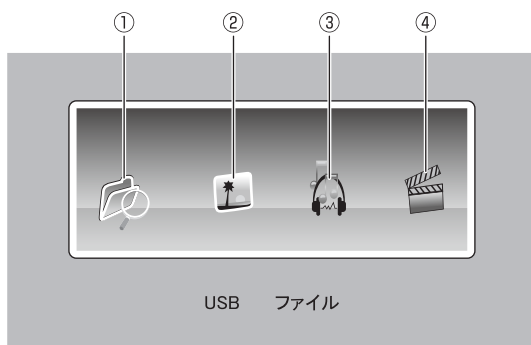
DVD ビデオディスク再生中に、リモコンの [27秒送り] ボタンを押すと 27 秒送りできます。

●ディスクによっては、27 秒送りができない場合があります。

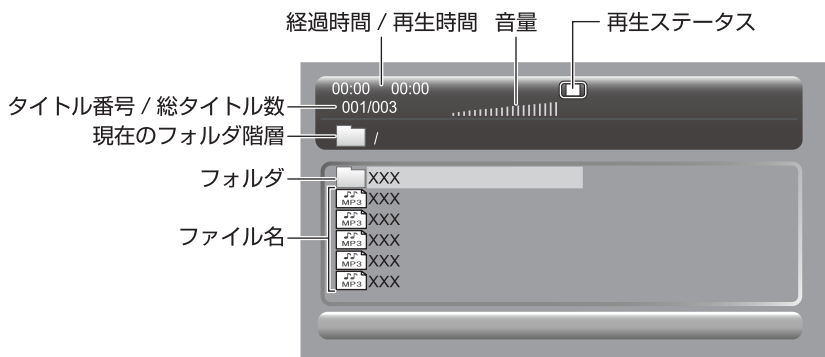
ファイルメニュー

ファイルメニューの操作

ファイルメニューの操作方法を紹介します。

対応するフォーマット形式の動画ファイル、音楽ファイル、画像ファイルが再生できます。
SDメモリーカードや USBメモリーを挿入し、本体やリモコンの モード切替 ボタンで SDメモリーカードや USBメモリーを選択すると、以下のファイルメニューが表示されます。

①		ファイルモード画面に移動します。
②		写真モード画面に移動します。 外部メモリー内にある画像ファイルを再生することができます。
③		音楽モード画面に移動します。 外部メモリー内にある音楽ファイルを再生することができます。
④		ムービーモード画面に移動します。 外部メモリー内にある動画ファイルを再生することができます。

ファイルモードの基本操作

ファイルメニューから を選択すると、以下のメニューが表示されます。
本体やリモコンの ボタンで再生したいファイルを選択し、 ボタンか 決定 ボタンを押してください。
ファイルが再生されます。別のフォルダに移動したい場合は、フォルダを選択し 決定 ボタンで移動してください。
ファイルメニューに戻る場合は、リモコンの メニュー ボタンを押してください。

- 対応ファイル形式はすべてのファイルの再生を保証するものではありません。
- 一部の日本語ファイル名は正常に表示されない場合があります。
- ファイルや動作中のモードによって機能が使用できない場合があります。

ファイル番号を指定して再生する

ファイルメニュー画面でリモコンの 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ボタンを押すと、ファイル番号を指定して再生できます。
ファイルメニュー左上部の箇所に「--2/009」（1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ボタンの「2」を押した場合）のように選択した番号が反転表示されるので、リモコンの 決定 ボタンを押してください。

動画ファイルを再生する

動画ファイルを選択してリモコンの ►II ボタンか 決定 ボタンを押すとフルスクリーン再生されます。
動画ファイルを再生中に以下の機能が使用できます。

ボタン	機能
決定	・・・再生します。
■	・・・再生を停止します。
►II	・・・再生を一時停止します。 通常再生に戻るには、もう一度ボタンを押してください。
►►I	・・・次の動画ファイルに移動します。
I◄◄	・・・前の動画ファイルに移動します。 ボタンを1度押した場合は、再生中のファイルの開始地点へ移動します。 前のファイルの開始地点へ移動するには、ボタンを2回押してください。
►►	・・・ボタンを押すごとに [2x] [4x] [8x] [16x] [32x] で早送り再生します。
◄◄	・・・ボタンを押すごとに [2x] [4x] [8x] [16x] [32x] で早戻し再生します。
リピート	・・・ボタンを押すごとに [シャッフル再生] [ランダム再生] [シングル再生] [オールリピート] [リピートオフ] が選択できます。
ズーム	・・・ボタンを押すごとに [x2] [x3] [x4] [x1/2] [x1/3] [x1/4] と再生画面が変更できます。
A-B	・・・指定区間リピート（AB リピート）します。
表示切替	・・・再生中の情報を [再生時間] [残り時間] [表示オフ] と表示します。
消音	・・・消音します。
メニュー	・・・ファイルメニューに移動します。

音楽ファイルを再生する

音楽ファイルを選択してリモコンの ボタンか 決定 ボタンを押すと再生が開始されます。
音楽ファイルを再生中に以下の機能が使用できます。

決定 ・・・再生します。

・・・再生を停止します。

・・・再生を一時停止します。
通常再生に戻るには、もう一度ボタンを押してください。

・・・次のページへ移動します。

・・・前のページへ移動します。

・・・ボタンを押すごとに [2x] [4x] [8x] [16x] [32x] で早送り再生します。

・・・ボタンを押すごとに [2x] [4x] [8x] [16x] [32x] で早戻し再生します。

リピート ・・・ボタンを押すごとに [シャッフル再生] [ランダム再生] [シングル再生] [オールリピート] [リピートオフ] が選択できます。

A-B ・・・指定区間リピート（AB リピート）します。

消音 ・・・消音します。

メニュー ・・・ファイルメニューに移動します。

画像ファイルを表示する

画像ファイルを選択してリモコンの [►II] ボタンか [決定] ボタンを押すとフルスクリーンでスライドショー表示されます。
画像ファイル再生中に以下の機能が使用できます。

[決定] ・・・再生します。

[■] ・・・再生を停止します。

[►II] ・・・再生を一時停止します。
通常再生に戻るには、もう一度ボタンを押してください。

[►►I] ・・・次の画像ファイルに移動します。

[I◄◄] ・・・前の画像ファイルに移動します。

[►►] ・・・時計回りに 90 度単位で回転表示します。

[◄◄] ・・・反時計回りに 90 度単位で回転表示します。

[リピート] ・・・ボタンを押すごとに [シャッフル再生] [ランダム再生] [シングル再生] [オールリピート] [リピートオフ] が選択できます。

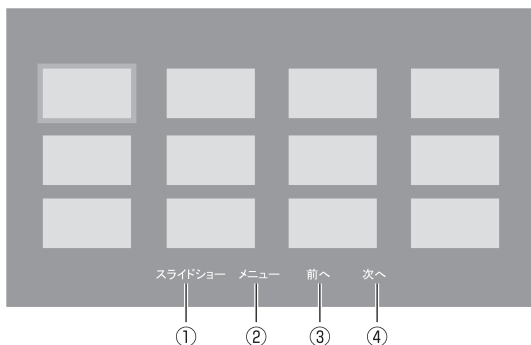
[ズーム] ・・・ボタンを押すごとに [100%] [125%] [150%] [200%] [75%] [50%] と再生画面が変更できます。

[表示切替] ・・・スライドショー効果を切り替えます。

[メニュー] ・・・ファイルメニューに移動します。

写真モードの基本操作

ファイルメニューから を選択すると、サムネイルが表示されます。

リモコンの ボタンで再生したい画像ファイルを選択し、決定ボタンか ボタンを押すと画像ファイルが再生されます。
ファイルメニューに戻る場合は、リモコンの メニュー ボタンを押してください。

①: スライドショーを開始します。
②: リモコン操作メニューを表示します。
③: 前のページを表示します。
④: 次のページを表示します。

画像ファイル再生中の操作は、「画像ファイルを表示する」（P.51）をご覧ください。

音楽モードの基本操作

ファイルメニューから を選択すると、以下のメニューが表示されます。

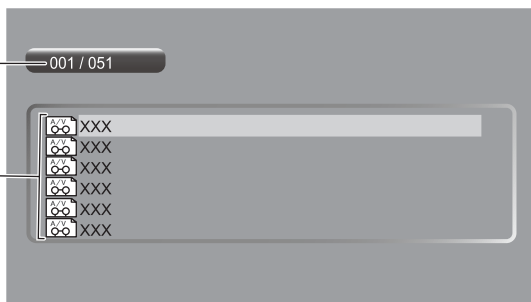
リモコンの ボタンで再生したい音楽ファイルを選択し、決定ボタンか ボタンを押すと音楽ファイルが再生されます。
ファイルメニューに戻る場合は、リモコンの メニュー ボタンを押してください。

①: 前のページを表示します。
②: 音楽ファイルを再生します。
③: 次のページを表示します。

音楽ファイル再生中の操作は、「音楽ファイルを再生する」（P.50）をご覧ください。

ムービーモードの基本操作

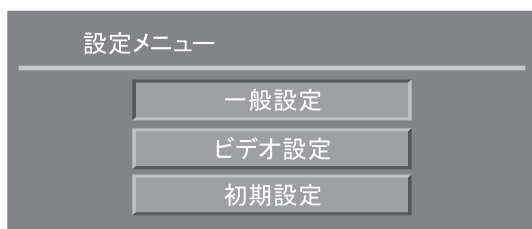
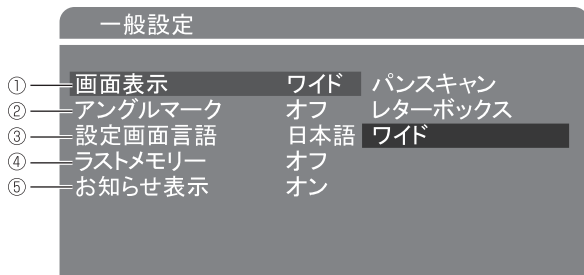
ファイルメニューから [アイコン] を選択すると、以下のメニューが表示されます。

リモコンの [十字] ボタンで再生したい動画ファイルを選択し、[決定] ボタンか [▶II] ボタンを押すと動画ファイルが再生されます。
ファイルメニューに戻る場合は、リモコンの [メニュー] ボタンを押してください。

動画ファイル再生中の操作は、「動画ファイルを再生する」（P.49）をご覧ください。

本体設定

設定画面の操作

設定を変更するには設定画面で変更します。

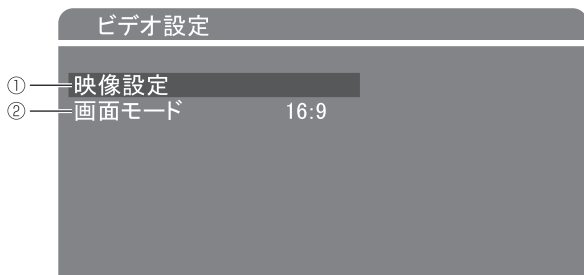
リモコンボタンの 設定 ボタンを押すと、以下のように表示されます。
リモコンの ボタンで項目を選択し、決定 ボタンで確定します。

一般設定

①: 表示画面の縦横比が変更できます。
再生するディスクやファイルに応じて選択してください。
[パンスキャン] [レターボックス] [ワイド] から選択できます。

②: アングルマーク表示の [オン] [オフ] が選択できます。

③: 画面の表示言語を [日本語] [英語] から選択できます。

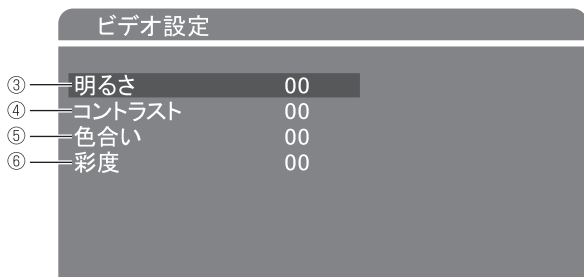
④: ラストメモリーの [オン] [オフ] が選択できます。

⑤: 電源オン後の注意画面表示を [オン][オフ] から選択できます。

ビデオ設定

①: 項目を選択すると映像設定メニューが表示されます。

②: 画面の映像出力を [16 : 9] [4 : 3] に選択できます。

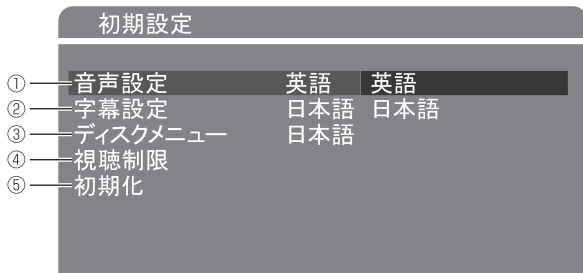
●ビデオ設定は本体画面にのみ反映されます。
外部出力を使用される場合はご使用のテレビの設定を変更してください。

◆映像設定メニュー

③: 画面の明るさが変更できます。
「−15」〜「+15」で調整できます。

④: 画面のコントラストが変更できます。
「−15」〜「+15」で調整できます。

⑤: 画面の色合いが変更できます。
「−8」〜「+8」で調整できます。

⑥: 画面の彩度が変更できます。
「−8」〜「+8」で調整できます。

初期設定

①: DVDディスクの音声言語を変更できます。

②: DVDディスクの字幕言語を変更できます。

③: DVDディスクのディスクメニュー言語を変更できます。

※①②③は設定を行なっても再生する DVDディスクによって動作しない場合があります。

④: ペアレンタルコントロールのレベルが変更できます。

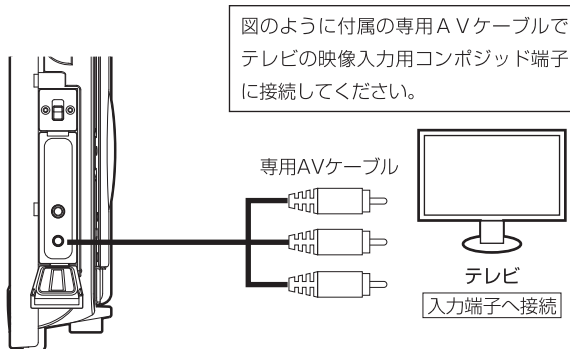
変更には 4 桁のパスワードを入力する必要があります。

パスワードは [8888] です。

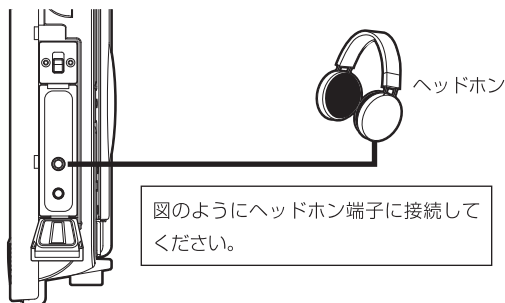
⑤: 設定を出荷時の状態に戻します。

外部端子接続

テレビに出力する

外部出力端子を使用してテレビに出力する方法を紹介します。

●テレビ・映像機器側の音量を最小にしてから接続してください。
●接続する機器の組み合わせによって画面の比率が乱れる場合があります。
●映像出力時も本体スピーカーから音声が出力されます。
本体スピーカーから音声を消す場合はヘッドホン端子にヘッドホンを接続してください。

ヘッドホンを使用する

ヘッドホン端子を使用してヘッドホンで聞く方法を紹介します。

●音量を最小にしてから接続してください。

故障かな？と思ったら

製品本体

電源が入らない	●専用ACアダプタをコンセントへしっかりと差し込んでください。(P.33) ●バッテリ切れになってないか確認してください。(P.33)
リモコンがきかない	●電池の＋、－の向きを確認してください。(P.34) ●電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。(P.34) ●リモコンを本製品のリモコン受光部に向けて操作してください。(P.26) ●リモコンとリモコン受光部の間の障害物を取り除いてください。
すべての設定を初期設定に戻したい	●設定画面の「初期設定」から「初期化」を選択し、出荷時の設定に戻してください。(P.57)

●静電気や落雷、他の機器との干渉により、本製品が正常に機能しない場合があります。その際は、本製品の電源をオフにしてからオンにする、または電源をオフにしてから電源コードを抜き、再び挿し込んでから電源をオンにすることにより正常動作になる場合があります。

DVDビデオディスク再生

再生できない	●本製品で再生できるディスクか確認してください。(P.15) ●DVDディスクのリージョンコードを確認してください。本製品のリージョンコードは「2」です。(P.18) ●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。(P.13) ●ディスクはラベル面を上に正しくセットしてください。 ●ディスクがトレイに正しくセットされているか確認してください。 ●寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部やディスクに露が付くことがあります。1～2時間放置してください。(P.13)

症状	対処
録画した DVD ビデオディスクが再生できない	●ディスクがファイナライズされていない場合、再生することができません。
映像が白黒になる	●ディスクの映像タイプを確認してください。(P.17)
映像が乱れる	●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。(P.13) ●サーチ再生中は多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。
音声が出ない	●リモコンや本体正面の音量レベルを確認してください。(P.41) ●早送り / 早戻し再生中に音声は出ません。 ●[音声切替] ボタンで切り替えてください。(P.42)
字幕言語が切り替えられない	●字幕の入ってないディスクは切り替えできません。(P.42) ●複数の字幕の入っていないディスクでは切り替えできません。(P.17、P.42) ●[字幕切替] ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。(P.41)
字幕が出ない	●字幕の入ってないディスクは切り替えできません。(P.17) ●字幕が「オフ」になっている場合は、[字幕切替] ボタンで切り替えてください。(P.42)
音声言語が切り替えられない	●複数の音声が収録されていないディスクでは切り替えできません。(P.17) ●[音声切替] ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。(P.41)
アングルを変えて見ることができない	●複数のアングルの入っていないディスクでは切り替えできません。 ●複数のアングルが記録されている場面でのみ切り替えできます。

ファイルモード

症状	対処
動画ファイルや音楽ファイルが再生できない	●対応形式であっても再生できない場合はエンコードソフトを変えて試してください。なお、変換方法についてはサポート対象外になります。

仕様

ディスプレイ	9型ワイド TFT液晶 (LED)
ディスプレイ画素数	800×480ピクセル (16:9)
対応ディスクフォーマット	DVD-VIDEO / DVD-VR(CPRM対応) / CD-DA / データ DVD / データ CD
対応ディスクタイプ	DVD-ROM / DVD±R / DVD±R DL / DVD±RW /CD-ROM / CD-R / CD-RW
対応音声コーデック	PCM / Dolby Digital
ラストメモリー機能	最大５件まで記憶 ※設定で機能を「オン」 にする必要があります。
対応外部メモリー	SDメモリーカード (～2GB) / SDHCカード (～32GB) / USBメモリー(～32GB) ※miniSDカード、microSDカード、microSDHCカードを使用する場合、 別途専用アダプタが必要になります。
対応ファイル形式	MPEG1 / MPEG2 / MP3 / JPEG
出力信号方式	NTSC
スピーカー	2chステレオ (1W×2)
搭載端子	USBポート ×1、SDカードスロット ×1、ヘッドホン出力端子(ステレオミニ) ×1、 映像出力端子 ×1、電源入力端子 ×1
電源 (AC アダプタ)	入力: AC100V 50/60Hz 出力: DC9V / 1.6A
消費電力	最大10W
再生時間 (バッテリ)	約4時間 (DVD再生時)
充電時間 (バッテリ)	約3時間40分
動作温度範囲	5℃～40℃
動作湿度範囲	20%～80%(結露なきこと)
防水性能	IPX7相当
外形寸法	W265 × D50 × H185(mm)
本体重量	約1200g
保証期間	１年間

●対応ディスクフォーマット・対応ディスクタイプ・対応外部メモリーは、すべてのディスク・外部メモリーやすべての容量に対し、再生を保証するものではありません。
●対応ファイル形式はすべてのファイルの再生を保証するものではありません。
●バッテリ再生時間・充電時間は目安であり、使用条件やバッテリ状況などの影響で異なります。

故障について

故障については、下記のサポート窓口へご相談ください。

サポート窓口	グリーンハウス テクニカルサポート
テクニカルサポートダイヤル	03-5421-0580
受付時間	10:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00(土日祝日をのぞく弊社営業日)
FAX	03-5421-2266（24 時間受付）
住所	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-15 ウノサワ東急ビル 5 階
ホームページ	http://www.green-house.co.jp/

・ 故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」や FAX でお問い合わせください。
・ お問い合わせの前に、取扱説明書「トラブルシューティング」や弊社ホームページにあるサポート「よくあるご質問」をご活用ください。
・ テクニカルサポートダイヤルの受付時間は、予告なしに変更する場合があります。

・本製品は、日本国内専用に製造および販売されています。
・本製品は、日本国外では使用できません。
・本製品を日本国外で使用することによるいかなる問題に対しても、責任を負いかねます。
・本製品は、日本国外での技術サポートおよびサービスは行っておりません。
・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
・This product can not be used outside Japan.
・We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

※製品のデザイン、仕様は改良などにより、予告なしに変更する場合があります。
※本書の内容は、予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書について、お気づきの点がありましたら、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

GH-PDV9HW シリーズ

GREEN HOUSE™ 株式会社グリーンハウス

〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5階
テクニカルサポートダイヤル TEL : 03-5421-0580
グリーンハウスホームページ : http://www.green-house.co.jp/

Ver.1.0